

愛媛県水稻育種の歩み

農林水産研究所

昭和

松山三井（昭和28年育成）

「近畿25号×大分三井120号」

○晩生、長稈だが稈は太く、大粒

○昭和28年奨励品種に採用され現在に至る



松山三井



ヒノヒカリ

多収・良質・良食味

平成

ひめのまい（平成3年育成）

「コガネマサリ×松山三井」

○中生、短稈で、耐倒伏性は強く、良質でやや多収



愛のゆめ（平成17年登録）

「西海181号×ヒノヒカリ」

○中生、良質・良食味品種



しずく媛（平成22年登録）

「松山三井のカルス培養変異」

○千粒重27g

○心白の発現が良好な酒米品種



多用途米

媛育71号（平成30年登録）

「媛育50号×関東202号」

○タンパク質含有量は低く、極多収

○愛媛県特認品種に認定



令和

ひめの凜（令和5年登録）

「媛育56号×西海245号」

○高温耐性・極良食味

○米・食味鑑定コンクールで
国際総合部門金賞受賞



健康機能性

極良食味・ブランド米

媛育83号（令和3年出願公表）

「中国188号×媛育71号」

○易消化性タンパク質が少ない品種